



## C2022-04 十字架の力

### [今月の聖書]

「十字架の言は、滅びゆく者には愚かであるが、救いにあずかる私たちには、神の力である。…神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからである。」(第一コリント 1: 18.25)

「神は、御旨によって、御子のうちにすべての満ちみちた徳を宿らせ、そして、その十字架の血によって平和をつくり、万物、すなわち、地にあるもの、天にあるものを、ことごとく、彼によってご自分と和解させてくださったのである。」(コロサイ 1: 19.20)

「十字架によって、二つのものを一つのからだとして神と和解させ、敵意を十字架にかけて滅ぼしてしまったのである。」(エペソ 2: 16)

「誰でも私についてきたいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を追うて、私に従ってきなさい。」(ルカ 9: 23)

「信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎつつ、走ろうではないか。彼は自分の前に置かれている喜びのゆえに、恥をもちとわなないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。」

(ヘブル 12: 2)

「私はキリストと共に十字架につけられた。生きているのはもはや、私ではない。キリストが、私の内に生きておられるのである。」(ガラテヤ 2: 19.20)

お元気でお過ごしでしょうか。今月は「十字架の力」と題して、「祝福の秘訣」「祈りの秘訣」「賛美の力」に続いて、信仰のマスターキーである十字架の意味について学びます。これは私の五十数年の伝道者生涯において決定的なテーマです。十字架の奥義を知らずして、キリスト教信仰を体験することはできません。十字架体験は、私たちの信仰がメッキものであるか、あるいは純金であるかを試すヤスリであります。

「十字架の言は、滅びゆく者には愚かであるが、救いにあずかる私たちには、神の力である。」(第一コリント 1: 18)パウロが「十字架の言」と言った時、初代教会における最初の説教(使徒的宣教)「ケリユグマ」を指しています。それは①イエス・キリストの十字架と復活②それは旧約聖書の預言の成就であったこと③その言に触れたものは人生が変わり、宣べ伝えずにはいられない人となること(新生と証)。

原語では「十字架と名付けられている言葉」と訳されています。十字架は滅びゆく者と、救われるものとを分離します。真の知恵と虚しく消えていく知恵とを分離します。私は十字架との出会いによって新しい心、新しい見方、新しい方向性を与えられました。

この十字架体験は、人生の苦難を忍耐をもって乗り越えさせ、不可能を可能にし、無から有を生み出し、永遠の命の希望に満ち溢れさせてくださいます。まさに十字架は「神の力」であります。

イエス・キリストは十字架上で死なれましたが、3日目に甦られました。十字架自体は敗北でありましたが、復活されたときその意味と力が全世界に証明されました。十字架は神と人との和解のためにも、人と人との和解のためにも、真の愛と平和を証するためにも、唯一の鍵です。人生のマスターキーとすることができます。十字架に表わされた福音の奥義が、あなたの心の内に宿り、新しい力となりますようにお祈りいたします。

(お知らせ)

\*ウクライナ支援募金を開始しました。5月3日目黒区中小企業センター区民ホールにてメサイア公演を致します。コンサートは無料ですが支援募金をいたします。ご協力くだされば幸いです。

## 「ウクライナのためのお祈りと募金のお願い」



ウクライナに対するロシアの侵略のニュースは毎日お聞きおよびのことと存じます。特に数百万人に及ぶ難民の生活と健康、4千万人を超える国民の生活と生命について大変心を痛め、心配しています。

私は21年前に本多定雄牧師、三宅忠雄牧師と共に、World Mission Project Japan(WMPJ)を組織し、日本聖書協会と協力し、海外に聖書を送る働きを致しました。1年目にチェコ、2年目にウクライナ、3年目にベラルーシに聖書を送りました。

2002年、ウクライナに30,000冊の聖書を届けました。その帰りにキエフの音楽大学(チャイコフスキー音楽大学)の学長の推薦を受け、オクサーナステパニユックさんを日本に1年間迎えることになりました。オクサーナさんは2003年に来日しましたが、卓越した才能と、日本を愛する想いが実って今日まで東京を中心に活躍しておられます。ご主人を迎えて2人のお子さんにも恵まれ、特に藤原歌劇団のトップソプラノ歌手として、また広く教会関係においても活躍しておられます。しかしそのご家族は、キエフ近郊にお住まいで、ただいま大変危険な状態の中に生活しています。

ウクライナの平和を祈るとともに、オクサーナさんを通して困難な生活をしている方々のためにささやかな支援募金を募る運びとなりました。高額な募金で非課税を必要とする方は、他のNPO法人や団体を用いてくださるようお願いいたします。またこの募金が兵器のために用いられず、一般の方の支援に用いられることを願っています。皆様のご協力をお願いする次第です。

また今年11月26日(土)紀尾井ホールにて開かれるメサイア公演にソプラノソリストとしてお迎えすることになりました。長い戦いだと思いますが、皆様のご協力をお願いいたします。

### ウクライナ支援募金は

- ① ライトハウスの「アンテオケ宣教基金」口座を用いてお願いいたします。  
みずほ銀行都立大学駅前支店(支店番号133)普通1060212 佐川英子
- ② あるいはCFI振替用紙 ウクライナ支援募金をご利用下さい。  
郵便振替口座 00120-6-170857 ライトハウス

「主は、私たちのために命を捨ててくださった。それによって、私たちは愛ということを知った。それゆえに、私たちもまた、兄弟のために命を捨てるべきである。」(第一ヨハネ3:16)

皆様のご協力とご支援のお祈りを感謝いたします。

2022年3月

ライトハウス